

お仕事図鑑

好きな仕事を
しているひとは
キラキラ輝いている。
知多半島で働く
キラキラな女性たち。
その気になるお仕事、
ちょっと拝見！



グループホームの敷地内にある畑を見ながら入居者と談笑。視線を合わせ、早口にならないようにわかりやすい言葉で話すことを心がけている。


介護福祉士

介護福祉士になるには
介護福祉士は介護職で唯一の国家資格。受験するには、福祉系高校で指定のカリキュラムを受けるか、3年以上介護の実務経験があるか、どちらかが必要となる。

介護福祉士を目指す人へアドバイス

人と関わる仕事なので相手とのコミュニケーションが一番大切にしています。相手と通じ合えたとき、笑顔を見ることができたときに、

この仕事をやっていて良かった、と思います。その喜びが介護の仕事の一番いいところではないでしょうか。


医療法人 中野会
グループホームRu・Ru・Ru(半田市成岩本町)
立花 涼子さん(28歳)

現在、要介護認定者数は全国で600万人を超え、65歳以上の約18%を占める。介護サービスの利用者も年々増え続け、家事援助、デイサービスなど、内容は多岐に渡る。

介護福祉士、立花涼子さんの職場は「グループホーム」だ。「要支援2」以上の認知症の診断を受けた高齢者が共同生活を送りながら日常生活上の支援や機能訓練などのサービスを受ける。立花さんたち介護スタッフは交代で常駐し、入居者の自立した生活をサポートする。毎日の決まった日程はなく、入居者個人に合わせて散歩をしたり、一緒に食事を作ったりと、暮らすように介護するのが特徴だ。

子どもの頃からお年寄りとお話をすることが好きだったという立花さんは、大学で福祉を勉強し、6年前に介護の仕事に就いた。このグループホームへは立ち上げからたずさわって、3年前から勤務している。「グループホームは一日の流れがゆっくり。一緒に過ごしながらたくさん話をします。話をすることで信頼関係もできますし、入居者さんの気持ちが不安になった時にも寄り添ってあげることができますから」。

入居者と冗談を言い合ったり、育てている畑を見ながら話をしている。穏やかに過ぎる一日の中でも、やはり人間同士、気持ちを通じ合わずお互いに感情がぶつかる時もある。家族から過去の話を聞くとなぜ怒っていたのか納得することもあれば、個別ケアの難しさも感じるという。でもそれ以上にやりがいもある。「入居者さんが自分との関わりで笑顔を見せてくれると本当に嬉しいし、もつと『ここにきてよかった』と思ってもらえる支援をできるようにになりたいです」。

介護ニーズの多様化に対応 コミュニケーションで相手を笑顔に

近所を散歩

天気が良ければ毎日近所を散歩する。入居者の健康維持だけでなく、ゆっくり話をする時間も兼ねているとか。



体操の時間

毎日簡単な体操をする。この日は足腰や肩の運動をみんなで和気あいあいと。



食事の支度

グループホームでは自分のできることは自分でやるのが基本。食事の支度もスタッフと入居者が一緒に行なう。

